



タカキパーツの

年男 & 年女の今年の抱負



おかだ てるゆき
岡田晃幸

工場長の岡田です！静岡県裾野市出身で、進学のために大分の大学に来て、タカキパーツには学生バイトで入りました。それから働き続けて27年になります。今年は子供が、高校を卒業し家を出て名古屋に行くので、夫婦二人で温泉やご飯にいきたいと思っています。仕事の抱負は、工場長として全てを見通せるようになりたいです！



今年の抱負
全てをみる



おぎの けんいち
荻野健一

販売課マネージャーの荻野です！一般個人さんから、整備工場さん、板金工場さん、ガソリンスタンドさんなどのお問合せを承っております。タカキパーツに務めて20年以上になります。臼杵市出身で臼杵から通勤しています。好物はトンカツ。今年の抱負は、トンカツ…ならぬ、『婚活』。明るい性格のステキな方と巡り会えるように日々頑張ります！



今年の抱負
婚活する



きたむら めぐみ
北村 恵

配達担当の北村です！勤務歴は11年になります。仕事で気をつけていることは、お客様との会話を大切にすることです。今年の抱負は、色んな方と会話をする機会をもっと作ることです。そして、ご注文いただいた商品をなるべく早くお届けができるように段取りをして、お客様にもっと喜んでいただけるように、頑張っていきたいと思っております！



今年の抱負
会話を大切に



いろいろあったな…

会長がふりかえる

45年の歩み

全4回シリーズ

会長 江藤祥一

第1回 孝木商店からタカキパーツへ

うちの親父が『孝木(たかき)商店』という名前で、廃品回収業をしていたので私も学生の時から加勢をしていました。当時は、鶴崎から大在、坂ノ市まで回収をしていました。ちなみに、現在タカキパーツの本社がある工場は、以前は海苔屋さんの工場だったので、よくダンボールの回収に通っていました。そして、私が25歳の時に、大在の車の解体屋さんが辞めるとい話を聞き、昭和50年(1975年)の6月、その工場を引き継ぐ形で創業することになりました。社名については、車のパーツを扱う会社ですので、それまでの『孝木商店』よりもカタカナで『タカキパーツ』の方が分かりやすいの

ではないかと思い『タカキパーツ』と名付けました。

創業当時は車のことは分からないことだらけでした。引き継いだ工場の元々のお得意先から仕事はありましたが、会社をより発展させるためには、車や業界の知識をもっと身につけなければいけないと思い、自動車解体の組合に入会しました。解体について、販売のポイントなど、会員の皆さんにヒアリングをして学びを深めました。創業して15年が経った頃、工場がある大在地区で区画整理が行われることになり坂ノ市に移転することになりました。(2020年春号/第2回 坂ノ市移転編に続く)



↑ 組合のソフトボール大会に参加した頃の写真(1989年)



↑ 大在から坂ノ市に移転した頃/後列の1番右が現工場長、後列の右から3番目が現社長

編集後記

創刊号はいかがでしたでしょうか。ぜひ、ご意見や感想などをお聞かせください。第2号は4月1日に発行します。今後ともよろしくお願いたします。★

車のことならおまかせ



TEL 097-592-2802

- ・自動車の解体処理
- ・リサイクル部品の販売
- ・新車・中古車の販売
- ・自動車の買取

